

五日市希望の家の管理運営の状況について

1 公の施設の概要について

| | | |
|------------|------|--|
| 施設の概要 | 名 称 | 五日市希望の家 |
| | 所在地 | あきる野市五日市 3 7 4 番地 5 |
| | 所管課 | 健康福祉部 障がい者支援課 障がい者相談係（内線） 2 6 1 9 |
| 指定管理者 | 名 称 | あきる野市社会福祉協議会 |
| | 所在地 | あきる野市平沢 1 7 5 番地 4 |
| | 業務内容 | <p>市内に住所を有する就業困難な 1 8 歳以上の心身障害者を通所させ、施設内で作業訓練や生活指導を行い、就労意欲を身に付けるなど社会的自立の助長を図る。</p> <p>○主な事業は以下のとおり</p> <p>調理実習、茶道教室、絵画教室、街へ出る会（以上社会化適応事業）廃品回収、委託清掃、手作り作品及びバザー出店（以上作業・訓練事業）</p> |
| ホームページ URL | | http://www.akiruno-shakyo.or.jp/page/sisetu.html |
| 指 定 期 間 | | 平成 2 0 年 4 月 1 日 ～ 平成 2 5 年 3 月 3 1 日 |

2 施設の利用状況等について

| 項 目 | 平成 18 年度 | 平成 19 年度 | 平成 20 年度 | 平成 21 年度 | 平成 22 年度 |
|-----------------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 登録者数（人） | 228 | 228 | 228 | 223 | 227 |
| 開所日数（日） | 240 | 240 | 238 | 236 | 238 |
| 延べ通所者数（人） | 4,203 | 4,261 | 4,247 | 4,088 | 4,172 |
| 平均（1 日当たり） 通所者数（人） | 17.51 | 17.75 | 17.84 | 17.32 | 17.53 |

※ 登録者数は、各月の登録者数を合計しています。

3 施設の収支状況について

（単位：円）

| 項 目 | | 平成 18 年度 | 平成 19 年度 | 平成 20 年度 | 平成 21 年度 | 平成 22 年度 |
|------|--------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 収 入 | 指定管理料 | 27,463,025 | 27,601,364 | 27,882,000 | 27,786,000 | 27,625,090 |
| | その他の収入 | 391,200 | 341,200 | 1,686,497 | 383,700 | 3,365,953 |
| | 計 | 27,854,225 | 27,942,564 | 29,568,497 | 28,169,700 | 30,991,043 |
| 支 出 | 維持管理経費 | 27,854,225 | 27,942,564 | 30,056,652 | 28,239,729 | 30,991,043 |
| 収支合計 | | 0 | 0 | △488,155 | △70,029 | 0 |

4 通所者等からの苦情・意見等とその対応状況について

| 意見等の概要 | 対応状況 |
|---------------------------|---|
| 苦情はない。改善を求める意見・要望等も出ていない。 | 毎月、保護者会を開き、意見・要望等の把握に努めている。連絡帳により、毎日の利用者の状況に対応し、サービスの質を維持している |

5 通所者満足度の把握について

| | |
|------|--|
| 把握方法 | 毎月、保護者会を開き、サービスに対する評価を確認している。 必要に応じ個別の面接、毎日の連絡帳により、要望を把握している。 |
| 調査結果 | 作業・訓練内容、工賃、行事、職員の対応などについて、満足しているとの意見が大多数である。同様のサービス水準の維持を望まれている。 |

6 通所者サービスの向上又は経費の削減等に向けた取組について（実績・予定、効果等）

| 取組の内容 | 効果等 |
|--|---|
| 給与の減額改定、経費の削減を行いつつ、送迎車を買換えて送迎の安全を図り通所者へのサービスの維持に努めている。 | 指定管理料（委託料）の減額に応じつつ、通所者全員の保護者と面接を実施し、送迎を含め個別支援計画の見直しを行いサービスの向上に努めた。 |
| 地域団体との交流、事業へのボランティア参加の推進、市内の学生の実習受け入れ等の実施。 | あきる野市の目指す「協働のまちづくり」の考え方が、地域に浸透してきている。地域の児童に障がい者理解へ学習の機会を与えた。 受け入れ先の不足する実習生を受け入れ、地域福祉を担う次世代育成に役立っている。 |

7 総合評価

| |
|---|
| 指定管理者の評価 （次年度以降における業務改善につなげていくための総括又は自己評価） |
| 障がい者福祉の理想の実現に向けて、あきる野市社会福祉協議会の資源と能力を活用した運営を実施している。地域の方々や多くのボランティアの力を得て、地域の施設として愛されながら、広がりをもった活動により、通所者も多くの経験や成長が生まれている。 次年度についても、地域の協力と理解を得ながら、通所者本位のサービスの実施を目指していく。 |
| 設置者（所管課）の評価 （次年度以降における業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価） |
| 長年、市内の心身障害者の作業所として、障害者と保護者の要望等に応え運営している。職員は通所者個々の障害特性等を理解し、丁寧に指導をしている。今後も、通所者の立場に沿ったきめ細かな指導をお願いしたい。 |